

第1学年グローバル・スタディ科シラバス

第1学年の目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成する。

教科の目標と学校教育目標を達成するために目指す授業

- ・間違いを恐れず英語を口にし、積極的にコミュニケーションを楽しむことができる授業
- ・基礎基本を大切にしつつ、興味・関心をとらえ、意欲的に学ぼうとする授業
- ・ALTを活用し、言語や異文化に対する興味や関心を引き出す授業

学習の仕方

- ◇日々の授業に集中し、教師やCDの発音を真似て声に出して言う。
- ◇授業後は『復習』を心掛け、『（読む・書く）練習』を繰り返す。
- ◇ワークなどの問題集を使って、学習の成果を確認する。
- ◇自己表現においては、自分の言いたいことを平易な英語を使って相手に伝えようと工夫する。
- ◇誰とでも積極的に英語でコミュニケーションを図る。
- ◇ALT に積極的に話しかけて学習した言語材料を使ってみる。

学習を効果的に進めるため、
家庭にお願いしたいこと

- 教科書やノートなどの授業に必要な道具を忘れないように声かけをお願いします。
- 授業の復習や宿題に取り組む姿を見てあげてください。

年間の指導計画

学期	単 元
1 学期	Get Ready PROGRAM 1 Step 1 PROGRAM 2 PROGRAM 3 Step2 Our Project 1
2 学期	Power-Up1 PROGRAM 4 PROGRAM 5 Power-Up2 PROGRAM 6 Step 3 PROGRAM 7 Step4 Our Project2
3 学期	PROGRAM 8 Power-up4 PROGRAM 9 Power-Up5 PROGRAM 10 Our Project3 Power-Up 6
授業時数 157時間	

観点別評価と評価の観点、評価方法

◇知識・技能

【知識及び技能の習得状況について評価を行うとともに、それらを既習の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているかについても評価する。】

- ・ペーパーテスト
- ・パフォーマンステスト
- ・文章による説明
- ・実際に知識や技能を用いる場面を設ける

◇思考・判断・表現

【知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかを評価する。】

- ・ペーパーテスト
- ・論述やレポートの作成
- ・パフォーマンステスト
- ・グループでの話し合い
- ・作品の制作や表現

◇主体的に学習に取り組む態度

【知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているかどうかという意志的な側面を評価する。※単に継続的な行動や積極的な発言を行うなど、性格や行動面の傾向を評価するということではない。】

- ・ノートやレポート等における記述
- ・小テストの取り組み
- ・授業中の発言
- ・教師による行動観察
- ・児童生徒による自己評価や相互評価